

2183

昭和十二年
自十月十二日
至十月十三日

江蘇省南京市

十字街及興衛
和平門及下關
附近戰鬥詳報

第二號

步兵第三十八聯隊

268

0270

7812
~~7811~~

十字街及興街和平門及下關戰鬪詳報

一 戰鬪前ニ於ケル彼我形勢ノ概要

敵ハ堯化門附近ノ陣地ヲ固守シタルモ前日來ノ猛攻
撃ニ對シ該地附近一帶ノ陣地ヲ捨テ、主力ハ南京
方向ニ敗走シ又一部ハ東北方ニ於テ我ヲ牽制スル為
カ陣地ヲ増築示シアルモノ如シ

乙 佐々木支隊ハ依前右側支隊ニシテ堯化門ニ進出シ
亦後敵ヲ南京北方地區ニ急追セン事ヲ企圖シアリ

丙 聯隊主力ハ右側支隊令令ニ基キ、玄武湖北側地區ニ
轉進シ敵ヲ殲滅セントス第ニ大隊ハ支隊ハ右側衛トナリ

盆路口北側高地ヲ占領シアリ 又第ニ大隊ハ支隊
後衛トナリ堯化門北方地區ノ敵ヲ撃滅掃蕩ヲ實施
シツアリ

二 戰鬪ニ影響ヲ及シタル氣象地形等ノ状態

日出時刻概ネ午前六時五十分ニシテ連日好天候ニシテ
戰鬪行動ニ多大ノ好況ヲ興ヘタリ

日没時刻ハ午後六時頃ニシテ夜間ハ星朏アリテ目視困
難ナラサルモ四周ニ山ヲ迷ラシテ稍達視困難ナリ

乙 地形及住民

典衛及十字街附近ハ敵ノ平素ニ於ケル演習地帯ニ
シテ巧妙ナル既設陣地アリ地形大波狀ヲナシ防禦亦ニ
適ス又小部落ノ點在ヲ見ルモ全ク住民ハ居住シアラズ敵
ハ之等ノ家屋ヲ殆ト燒却シ退却セリ又道路ハ殆ト
阻絶シアリテ車馬ノ通過不能ナリ

三 彼我ノ兵力其他ノ狀況

敵ノ兵力明瞭ナラサルモ典衛附近約五、六百名ニシテ
十字街附近ノモハ更ニ有力ナルモノ、如シ
野砲及迫撃砲數門ヲ擁ス

交戦セシ敵ノ団体號ハ第三十六師及第四十八師ニ屬ス
ルモノ並ニ一部ハ教導總隊ナルカ如シ

四 各時機ニ於ケル戦闘経過

戦闘経過ノ概要別紙要圖ノ如クニシテ堯化門附近ノ
戦闘ニテ敵ノ陣地ヲ奪取シタル後十月十日午後四時
堯化門西北方高地ニ於テ左右側支隊命令ヲ受ケ
聯隊主力ハ前衛トナリ直ニ前衛命令ヲ下シ午後一
時三十分堯化門出發岡下ヲ經テ馬營―興衛ニ向ヒ
前進ス

岡下―興衛間ノ道路ハ野砲ノ通過稍々困難ナル為メ
歩兵ハ補修ヲ實施シツ、前進シ午後六時前衛
本隊、興衛村ニ達ス

此ノ間敵ノ砲兵、熾ニ我ヲ射撃手シ其ノ行動ニ防得ヲ
興ハタリ

右側支隊命令

十二月十日午後五十分
於堯化門北方高地

- 一 微弱ナル敵ハ尚北方ニ残留シ在リ先遣大隊ハ本日午前十一時三十分十字街方向ニ進出シ該地東側高地ニ在ル敵ヲ攻撃中
- 二 師團主力ハ今朝來攻撃ヲ續行中ナルカ如シ
- 三 支隊ハ今ヨリ玄武湖北方地區ニ向ヒ轉進セントス
- 四 先遣大隊ハ前任務ヲ續行スヘシ
- 五 前衛ハ午後一時二十分其ノ歩兵先頭ヲ以テ銀吼山北側ヲ出發シ岡下馬場ヲ經テ十字街ニ向ヒ前進スヘシ
- 六 左側衛ハ依然現態勢ニ在リテ支隊ノ轉進ヲ掩護スヘシ
- 七 縱命ヲ待ツテ夜暗ヲ利用シ離脱シ支隊本隊ニ追及シ得ヘキ準備ニ在ルヘシ
- 八 後衛ハ支隊ノ轉進ヲ掩護シタル後一切ノ後方機關

ヨ掩護シテ支隊本隊ニ追及スヘシ

但シ一部ヲ残置シ軍直轄ノ砲兵及衛生機關

等掩護ニ任セシムルヲ要ス又敵狀ニ在リテ其ノ

大部ヲ以テ現任地附近ニ於テ駐止掩護ノ必要ヲ

生スル場合ヲ顧慮スルヲ要ス

七 本隊タル諸隊ハ遂ガ堯化門附近ニ集合左右序列

ニ從ヒ前衛ノ後方千米ヲ續行スヘシ

八 余ハ本隊ノ先頭ヲ行進ス

支隊長 佐々木到一

軍隊區分

先遣大隊長

歩兵第三十三聯隊第一大隊(第二中隊欠)

旅團無線一機

前衛

6812

0610

司令官

助川大佐

歩兵第三十八聯隊本部

第一大隊 (第三中隊欠)

工兵小隊

輕裝甲車第八中隊

左側衛

歩兵第三十八聯隊第二大隊 (第五中隊欠)

後衛

歩兵第三十八聯隊第三大隊 (第十一中隊欠)

本隊

支隊司令部

歩兵第三中隊

歩兵第五中隊

野砲兵大隊 (一中隊欠)

三

274

0276

迫撃小隊

歩兵第十一中隊

前衛命令

十二月十二日午後一時五分
於荒化門北方四ツ高地

一 前衛ハ右側支隊命令ニ基テ荒化門一園下馬場
十字街道ヲ十字街ニ向ヒ前進セントス

二 第一大隊(第二第三中隊)工兵小隊ハ前兵トナリ午後

一時二十分現在地ヨリ出發支隊ノ進路ヲ十字街ニ向ヒ

前進スヘシ前衛中隊ト離五ツツ米

三 本隊ハ左記行軍序列ニ從ヒ前兵進路ヲ前進スヘシ

左記

聯隊本部 第二中隊 聯隊砲中隊 速射砲中隊

輕裝甲車 第八中隊

四 通信班一部ヲ殘置シ既設線撤収後追及スヘシ

五 聯隊小行李ハ彈藥補充後速射砲後方ニ入ルモトス

六 余ハ前衛本隊ノ先頭ヲ行進ス

前衛司令官

助川大佐

午後六時右側支隊ハ與衛ニ達シ先遣大隊ハ正午頃ヨリ
何家凹附近ニ於テ敵ヲ攻撃中ナルコトヲ知ル

午後六時四十分ニ至リ支隊長ハ左ノ命令ヲ下セリ 依テ
前衛司令官ハ右支隊命令ニ基キテ該地附近ニ兵力
ヲ集結シ明日ノ攻撃準備ヲナサンカ為メ次々命令ヲ與ヘ
夕リ

右側支隊命令

十二月十一日午後六時四十分
於 與衛司令官 部

一 敵ハ十字街東西ノ高地ヲ南北ニ亘リ二線ニ陣地ヲ設備
シ迫撃砲数門並ニ野砲一門在ルモノ也

而シテ第一線陣地ノ右翼ハ十字街東南方約一料ノ森
林附近 又其ノ左翼ハ詳ラカナルモ姜比庄附近ニ在ル
モノト想像セラル

先遣大隊ハ何家凹ヨリ三角標高五七四高地ノ見線ニ
展開シ正午以來敵ヲ攻撃中ナリ

二 支隊ハ先遣大隊ノ後方ニ兵力ヲ集結シ明十三日ニ於ケ
ル攻撃ヲ準備セントス

三 前衛(工兵小隊ヲタギ步兵第三中隊ヲ復取セシム)

司令官ハ先遣大隊ヲ併セ指揮シ明十三日敵ヲ攻撃ス
ル目的ヲ以テ前面ノ敵情地形特ニ右習共正面敵情
地形ヲ搜索スヘシ

敵ノ退却スル場合ニ於テ機械ヲ失セス追撃ヲ移ル準備
ニ在ルヲ要ス

四 左側衛ハ日没後戰場ヲ離脱シ興營村東北地區ニ兵
カラ集結シ予備隊トナルヘシ

但シ第五甲隊ハ興衛村南方三角標高一四七ノ高地ヲ
占領セシメタル後貴官ノ指揮ニ復取セシム

五

五 後衛ハ前任務ヲ續行スヘシ但シ野砲兵大隊(一甲隊欠)
ハ作命甲第百六十六號ノ如ク明十三日拂曉マテニ興衛
村支隊司令部ニ追及スヘシ

六 歩兵第十一甲隊長ハ約一小時ノ兵ヲ正午迄ニ岡下ニ
又路ニ派遣シ砲兵前進掩護並ニ誘導ヲ任スヘシ

七 歩兵第十甲隊ハ第二大隊長ノ指揮ヲ受ケ予備隊トナルヘシ
大行李ハ迫撃砲隊ニ續行シ先頭ヲ以テ李家ノ左附
近ニ前進シ待機スヘシ

八 余ハ興衛村ニ在リ

支隊長

佐々木到一

前衛 命令

十月十三日午後三時十分
於興衛村

一 敵ハ十字街東西ノ高地ヲ南北ニ亘リ二線ニ陣地ヲ設
備シ迫撃砲數門並ニ野砲ヲ有スルモノ如シ
其ノ第一線陣地ノ右翼ハ十字街東南方約千米ノ

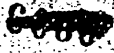
森林附近ニ其ノ左翼ハ詳ナラサルモ、姜比左附近ニ在ルモノ、如シ先遣大隊ヲリシ步兵第三十三聯隊第一大隊（第三中隊外）何家凹ヨリ標高五七四高地ニ直ニ線ニ展開シ正午以來敵ヲ攻撃中ナリ

支隊ハ先遣大隊ノ後方ニ兵カヲ集結シ則十三日ニ於テ攻撃ノ準備ヲス

二 前衛（P）隊ヲキキ步兵第三中隊ヲ加ヘ先遣大隊ヲ併セ指揮シハ則十三日敵ヲ攻撃スル目的ヲ以テ兵カヲ王家碾興衛附近ノ地區ニ集結シ前面ノ敵情地形特ニ我々右翼方面ノ敵情地形ヲ搜索セントス

三 敵退却ノ場合ニ於テ飛機ヲ失セズ追撃ニ移ルニ企圖スル前衛王家碾附近ニ兵力ヲ集結シ何家凹方向ヨリ前面ノ敵情地形ヲ搜索スヘシ又敵陣地ノ右翼方面ヲ搜索スルヲ要ス

- 四 先遣大隊タリシ歩兵第三十三聯隊第一大隊ハ現ニ
進出セル線ヲ確保シ攻撃ノ目的ヲ以テ前面敵情
地形ヲ搜索スシ本夜敵ノ退却ニ當ツテ之ニ尾シ
テ追撃スル事所要ナリ
- 五 前衛本隊ハ興衛附近ニ露營ス
露營司令官莊司大尉トス
聯隊砲中隊砲中隊ハ卅十三日拂曉後ニ於テハ射撃
諸準備ヲナスヘシ通信班旧先遣大隊前衛及旅
團聯隊本部間ニ^{電報}連絡スヘシ
- 六 本夜ノ給與ハ携帶セルモノヲ使用ス
- 七 大行李ハ追撃砲隊ニ續行シ其ノ先頭ヲ以テ李家庄
附近ニ待機スヘシ
- 八 左側衛大隊ハ日没後轉進シ興衛村北地區ニ兵力
ヲ集結スルヲ



九 野砲兵大隊（一隊隊及迫撃砲大隊）八時十三分掃境

道 興衛村ニ到着スル迄

一 支隊司令 部ハ馬營ニ在リ

二 余ハ興衛村又路ニ在リ午後十時命令者ヲ差出ス

前衛司令官 助川大佐

支隊當面敵尚頑強ニ抵抗シツ、アリ右翼隊ハ作夕以來

紫金山ヲ攻畧シ又各兵團ハ何レモ南京城ニ肉迫シツアル

ノ情報ヲ受ケ當聯隊ハ朔旦拂曉攻撃ヲ為シ左記支

隊命令ヲ受ケ十三日午前三時三十分聯隊ノ攻撃命令

ヲ下シ午前五時行動ヲ開始セリ

右側支隊命令 十月十三日午前二時三十分 於興衛村司令 部

一 支隊當面ノ敵ハ尚頑強ニ抵抗シツアリ昨十二日夕我師團

ノ右翼隊ハ紫金山第一峰ヲ攻畧シ續イテ天文台ニ向

七 攻撃中 荻洲兵團ノ歩一聯隊ヲ基幹トスル一支隊

五

野砲兵大隊(第三中隊)ハ可成遠ニ興衛村附近ニ陣地ヲ占領シ第一線歩兵ノ攻撃ニ協カスヘシ

四

後衛ハ依然トシテ其ノ任務ヲ續行スヘシ
步兵第三十八聯隊長ノ指揮スル部隊(追撃中隊)ヲ配属スハ拂曉以後攻撃ヲ開始シ一部ヲ以テ道路以北ニ主カヲ以テ十字街東側高地ノ攻略ニ努ムヘシ

三

約一中隊ヲ以テ確實ニ之ヲ占領セリ
突破シ下關方面ニ進出セントス

二

支隊ハ今十三日重典ヲ左方ニ保持シツ、敵ノ中央ヲ
二 藤田兵團ハ南門角ニ夫々肉迫シ攻撃中ナリ
浦口高ヒ近迫シツ、アリ又吉住兵團ハ南京城東對岸南角
鎮江方向ヨリ西進シ烏龍山砲台 柳川兵團ニ属スル
國崎支隊ハ蕪湖ニ於テ揚子江ヲ渡河シ南京

七

0000

五 兵隊 龍門 嶺

六 豫備隊八年前不時占ニ龍家王東方高地(七五高地)

東側谷地ニ開進スヘシ 追撃ノ場合ヲ顧慮シ十字

街東西高地ノ南麓方面ニ於ケル地形ヲ偵察スヘシ

七 衛生隊ハ興衛村ニ繙帯ヲ開設スヘシ

八 第一野戦病院(半部々)ハ堯化門ニ開設スヘシ

九 歩砲彈藥補給ハ仙鶴門鎮ニ於テ受クヘシ

一〇 余ハ興衛村ニ在リ

支隊長

佐々木到一

歩兵第三十八聯隊命令

十二月十三日午前三時十分
於興衛村

一 支隊當面ノ敵ハ尚頑強ニ抵抗シアリ

其ノ一部ノ弁候ハ興家村附近ニ出沒セリ我カ師團ノ

右翼隊ハ昨十二日夕刻紫金山第一峰ヲ攻畧シ續

テ天文台高地ヲ攻撃中荻洲兵團ノ一支隊ハ鎮

江方面ヨリ西進シ烏龍山砲台ヲ又柳川兵團ニ属スル一支隊ハ蕪湖ニ於テ揚子江ヲ渡河シ南京對岸浦口ニ向ヒ進迫シツアリ。右佐兵團ハ南京城東南角ニ又藤田兵團ハ南門角ニ夫々肉迫シ敵ヲ攻撃中ナリ。支隊ハ今十三日重兵ヲ左方ニ保シ持ツ。敵ノ中央ヲ突破シ下關方面ニ進出ス。盩厔路口西方約一吉標高一四七一高地ハ我歩兵約一中隊ヲ以テ確實ニ之ヲ占領シ在リ。

- 二 聯隊(田前衛)兵力ニ迫撃砲小隊ヲ配属セラル。拂曉ニ攻撃ヲ準備。天明後攻撃ヲ開始シ一部ヲ以テカリーノ北側地区ヨリ主力ヲ以テ十字街東側高地ヲ攻踏セテス。聯隊ノ進出線ハ紅山西方約七百米ノ高地線トス。
- 三 歩兵第三十三聯隊第一大隊(カ如部隊)旧ノ如クニ標高五七四高地(庄家碾)南端高地標高一三九高

高尾和立門西北方社家正北端ヲ連ル線以北ニ展
 開シ概テ現在占有セル地線ニ展開シ午前七時止
 ニ攻撃ヲ準備スヘシ但シ一部ヲ以テ北方地區ニ
 派遣シ敵ノ左側背ヲ攻撃セシムヘシ

四 輕裝甲車第八中隊ハ天明止ニ出發ノ準備ヲ製ヘ
 現在地上ニ待機スヘシ

五 歩兵第三十八聯隊第一大隊(第三中隊包ハ左第一線ト
 ナリ)前項記載ノ戰鬪地境以南ノ地區ニ於テ概テ歩
 兵第三十三聯隊ノ現ニ進出シタル地線ニ午前七時止
 ニ展開シ攻撃ヲ準備スヘシ

第一線西六隊ノ攻撃前進ノ時機ハ午前八時ト予定
 スルニ別ニ命ス歩兵第三十三聯隊ノ左第一線部隊
 ノ地域ナルモ六年前八時止ニ其ノ所屬ニ復歸セシ
 ムヘシ

- 六 聯隊砲中隊ハ龍家王附近ニ午前七時迄ニ陣地ヲ占領シ拂曉以後射撃手ヲ開始シ得ル如ク準備スヘシ
- 七 連射砲中隊ハ西大隊ニ分属セラルル場合ヲ顧慮シ標高四七四附近及單家庄東方高地附近ニ午前八時迄ニ陣地ヲ偵察スヘシ
- 八 迫撃砲小隊ハ單家庄東方地區ニ陣地ヲ占領シ聯隊ノ攻撃手ニ協力シ得ル如ク午前八時迄ニ諸準備ヲ完了マルヲ要ス
- 九 通信班ハ西大隊ト聯隊本部旅團ト聯隊本部間午前七時三十分迄ニ電話連絡スヘシ
- 一〇 歩兵第三中隊連射砲中隊ハ予備隊トス午前七時マテニ龍家王東側ニ至スヘシ
- 一一 後衛前任務ヲ續行スル者
- 一二 野砲兵大隊(第三中隊也)ハ明十三日拂曉頃興衛村

附近ニ陣地ヲ占領スル等

三 旅團予備隊ハ午前九時龍家王東側谷地ニ至ル等

四 橋生隊ハ興衛村ニ開設セラル、等

五 又第一戰野病院(半部包)ハ堯花門ニ開設セラル

歩兵彈藥補給所ハ仙鶴門鎮トス

六 余ハ午前七時龍家王北方高地ニ在リ

聯隊長

助川大佐

然生ニ敵ハ既ニ退却ヲ開始セルモ、如ク聯隊ハ處々ニ殘敵

ヲ殲滅シツ、後方ニ激烈ナル銃砲声ヲ聞キツ、前進シ

午前九時二十五分左記追撃命令ヲ下達シ追撃手ニ

移上此ノ間旅團予備隊タリシ第十一中隊ハ野砲兵

大隊ヲ掩護中岡下ニ於テ有力ナル敵ト遭遇戦闘ヲ

實施セリ

歩兵第三聯隊命令

十月十三日午前九時二十五分
於十字街東方五〇高地



- 一 聯隊前面ノ敵ハ退却セリ益路口方面ヨリ退却セル敵ノ大部隊ニ對シ旅團ヲ備隊及野砲兵隊ハ午前八時頃ヨリ殲滅戰ヲ行ヒ目下掃蕩中ナリ
- 二 聯隊ハ前記作命第三八六號ニ於テ示シタル進出線ニ追撃セントス
- 三 第一線部隊ハ達ニ該線ニ向ヒ敵ヲ追撃シ隨所ニ敵ヲ殲滅スルヲ要ス 殲滅戰ノ為ニ一部隊ハ前記ノ線ヲ超エテ進出セシムヘシ追撃砲隊 聯隊砲甲隊ハ達ニ第一線ニ追及スヘシ
- 四 輕裝甲車隊ハ直ニ敵ヲ追撃スヘシ
- 五 余隊備隊ト共ニ前進シ和平門東側高地ニ至ル
- 六 紫金山方向ノ敵ハ潰走中ナルヲ以テ聯隊ノ左側方面隨所ニ現出スル場合ヲ顧慮シ各部隊ハ隨所ニ之ヲ殲滅スルヲ要ス

從テ右隊ハ相當ノ縱長ニ在リ事肝要ナリ
又小行李其ノ他後方機關ヲ敗殘兵ニ曝露セザ
ラ要ス

前衛司令官 助川大佐

正午頃十字街及紅山附近ノ旅團命令ニ基キ先ツ
其ノ地占テヲ確保シタル後午後ニ時ヲ命令ラ下達ス

前衛命令

十一月十二日午後二時
於紅山西側高地

- 一 前面ノ敵ハ右方面ニ退却セリ
- 二 前衛ハ別命アル迄現在ノ地占テヲ確保シ一部ヲ以テ
下關ニ向ヒ敵ヲ追撃セ下ス
- 三 歩兵第三十三聯隊第一大隊ハ現在ノ地占テヲ確保スヘシ
- 四 歩兵第三十八聯隊第一大隊(第一第三中隊)ハ下關
方向ニ敵ヲ追撃スヘシ
- 五 第一中隊ハ和平門及中央門ヲ占領スヘシ

- 六 第三軍隊（二小隊）ハ玄武湖北側高地ヲ確保スヘシ
- 七 輕裝甲軍隊ハ下關方向ニ敵ヲ追撃スヘシ
- 八 追撃砲大隊ハ現在地ニ集結ス
- 九 聯隊砲中隊ハ現在地ニ兵力ヲ集結スヘシ
- 一〇 其他ノ部隊ハ豫備隊トス
- 紅山西方高地ニ兵力ヲ集結スヘシ
- 二 右隊ハ何時ニテモ出發シ得ル如ク準備シアルヲ要ス
- 三 余ハ予備隊ト共ニ紅山西側高地ニ在リ
- 聯隊長 助川大佐
- 6 南京城ヲ固守セシ有カナル敵兵團ハ光華門其他ニ於テ頑強ニ抵抗セシモ各部隊ノ猛撃ニ依リ著シク戰意ヲ失ヒ續々主トシテ下關方向ニ退却ヲ開始セシモ前衛ハ先獨立輕裝甲車第八中隊ヲシテ迅速果敢ナル追撃ヲ行ヒ午前一時四十分頃渡江甲ノ敵五六千徹底的大損

害ヲ興ヘテ之ヲ江岸及江中ニ殲滅セシメ次テ主カヲ以テ午後三時頃ヨリ下關ニ進入シ同日夕マテニ少クモ五百名ヲ掃蕩シ竭セリ

次テ左記城内外掃蕩ニ關スル支隊命令ヲ受領ス

右側支隊命令

十一月十三日午後五時三十分於南京和平門外

一 敵ハ前面約ニ敗北セリ支隊ハ和平門以西ノ各門及ヒ

下關ヲ占領シ敵ハ逃出ヲ完全ニ閉鎖セリ

二 支隊ハ本夜現態ヲ以テ敵ヲ監視シ又一部ヲ以テ背後

交通ヲ遮断シ掃蕩セントス

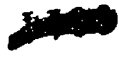
三 歩兵第三十八聯隊(第二第三大隊欠)ハ和平門(之ヲ含む)

以西ノ各門及下關ヲ警戒備シ交通ヲ遮断スルニシ

歩兵第三十八聯隊(第二中隊欠)ヲ指揮スル事旧ノ如シ

四 歩兵第三十八聯隊第三大隊ハ後方警戒備ニ必要ナル最小限

ノ兵力ヲ堯化門、仙鶴門鎮、馬營附近ニ殘置シ道路



西側ヲ掃蕩シツ、明十四日概ネ正午頃迄ニ支隊ニ追及
 スヘシ馬宮附近ニ残置セル第五中隊ヲ區署シ所要
 ノ人負ヲ残置セシメタル後(必要ナケレハ全部)ヲ收容スヘシ
 五 余余ノ諸隊ハ予備隊トナリ中央門外附近ニ集結シ
 露營スヘシ
 水谷少佐ハ露營司令官トス
 六 衛生隊ハ中央門外附近ニ繻帶所ヲ開設スヘシ
 七 余ハ中央門外ニ在リ

支隊長

佐々木到一

ク午後七時左記前衛命令ヲ下達シテ該地附近ニ兵力

ヲ集結シテ嚴ニ附近ヲ警戒備ス

前衛命令

十一月十三日午後七時

ハ敗殘ノ敵ハ尚附近ニ徘徊ス

ニ前衛概ネ掃蕩ヲ修了セハ兵カヲ下関南端附近

ニ集結セントス

- 三 前兵(第一第四中隊)下關丁字路附近ニ集結スヘシ
- 四 歩兵第三十八聯隊第一大隊(速射砲中隊配屬ヲ解_ク其_ノ他如故)既ニ獲得セル矣ヲ嚴ニ守備スヘシ
- 五 前衛本隊ハ停車場南方地區ニ兵カラ集結シ露營スヘシ

六 露營地域現地ニ於テ指示セシム

七 速射砲中隊ノ各隊配屬ヲ解_ク前衛本隊復取スヘシ

八 第一中隊ハ和平門及中央門、金川門ヲ占領シ該地

附近ニ露營スヘシ

九 第一大隊小行李ヨリ小銃彈藥約四匣ヲ輕裝甲

車隊ニ交附スヘシ

一〇 聯隊本部ヨリ小銃彈五〇〇發ヲ交附スヘシ

二 本夜ノ詰興ハ携帶セルモノヲ使用スヘシ

一 露營間、附近ノ民家等ニ立入り不法行為ヲ實
 施セシメサル様幹部ハ注意スヘシ
 二三 各國ノ權益内ニ武装シタルモノヲ立入レサル様教育スシ
 一四 余ハ露營地ノ中央部ニ在リ

前衛司令官

助川大佐

五 戦闘後ニ於テル彼我形勢ノ概要

敵ノ敗残兵ノ一部ハ南京城内ニ在ルモノ、如ク大部ハ下
 關ニ壓迫シタル敵ハ其退路ヲ失シ我ニ殲滅セラレタルモ
 極少数ノ敵ハ揚子江ヲ南口ニ渡河シテ敗走セルカ如シ
 下關ニ壓迫セシ敵ハ少クモ二万ヲ下ラサルカ如シ

六 各々各隊ノ武功ニシテ特ニ拔群ナルモノ

(1) 各々武功特ニ拔群ナルモノ

第一大隊長

陸軍歩兵中佐

竹内

正

0122

(2)

各隊武功特ニ拔群ナリ

第一大隊
第二中隊

獨立経裝甲東第八中隊長 陸軍歩兵大尉 福田林治

同	同	同	同	聯隊本部要員	聯隊通信班長代理	聯隊旗手	第一中隊長	聯隊副官
同	同	同	同	陸軍歩兵伍長	陸軍歩兵准尉	陸軍歩兵少尉	陸軍歩兵大尉	陸軍歩兵少佐
宮本源三郎	奥田信造	奥田信三	增田善三	久保 寛	西 峯 義 雄	蛭 澤 憲 一	奥 藤 悟 一 郎	鬼 玉 義 雄

295

0297

2211

818

獨立経装甲車第八中隊

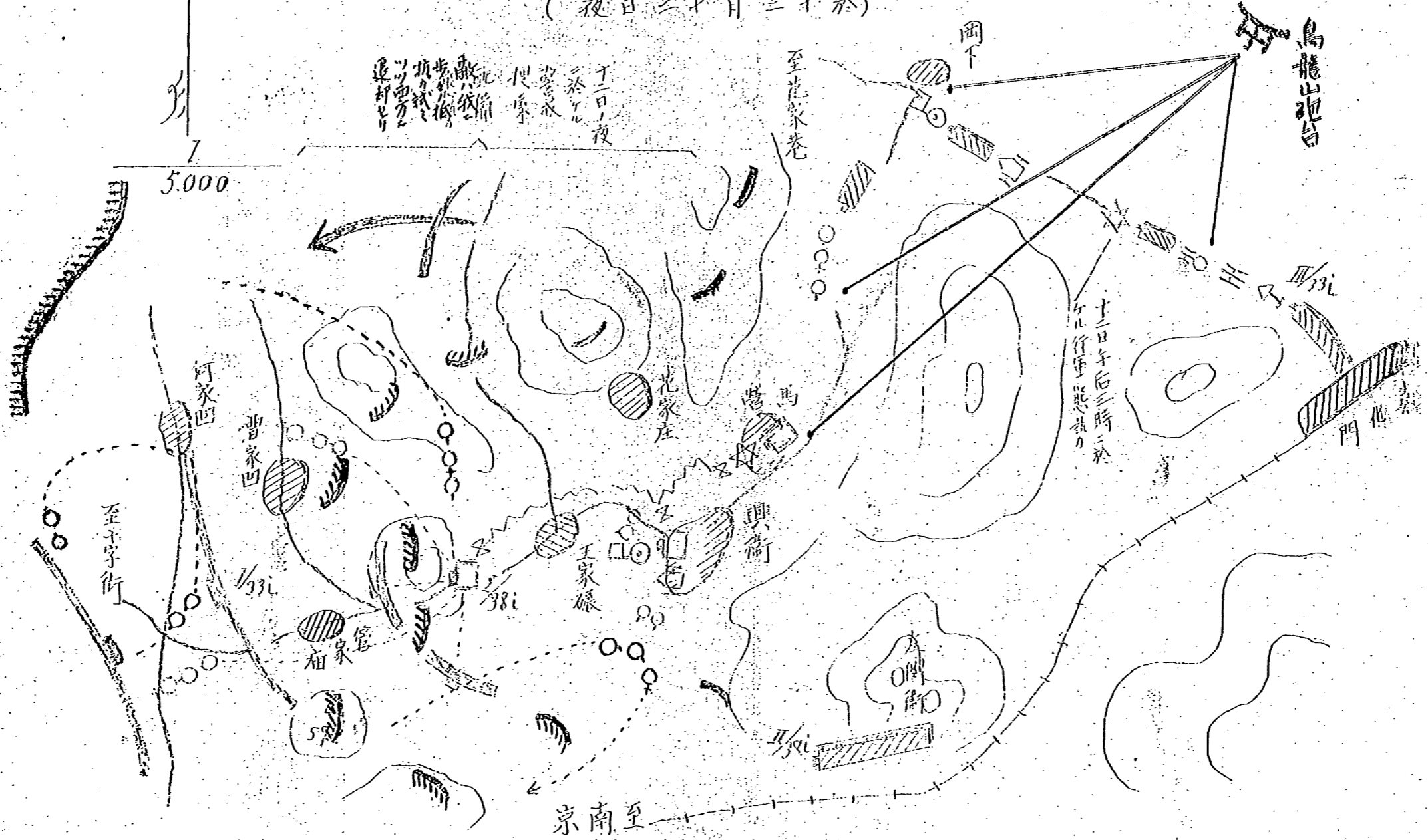
296

0298

2212

興衛附近二於之彼我態勢要圖

(於二十月二十日夜)



297

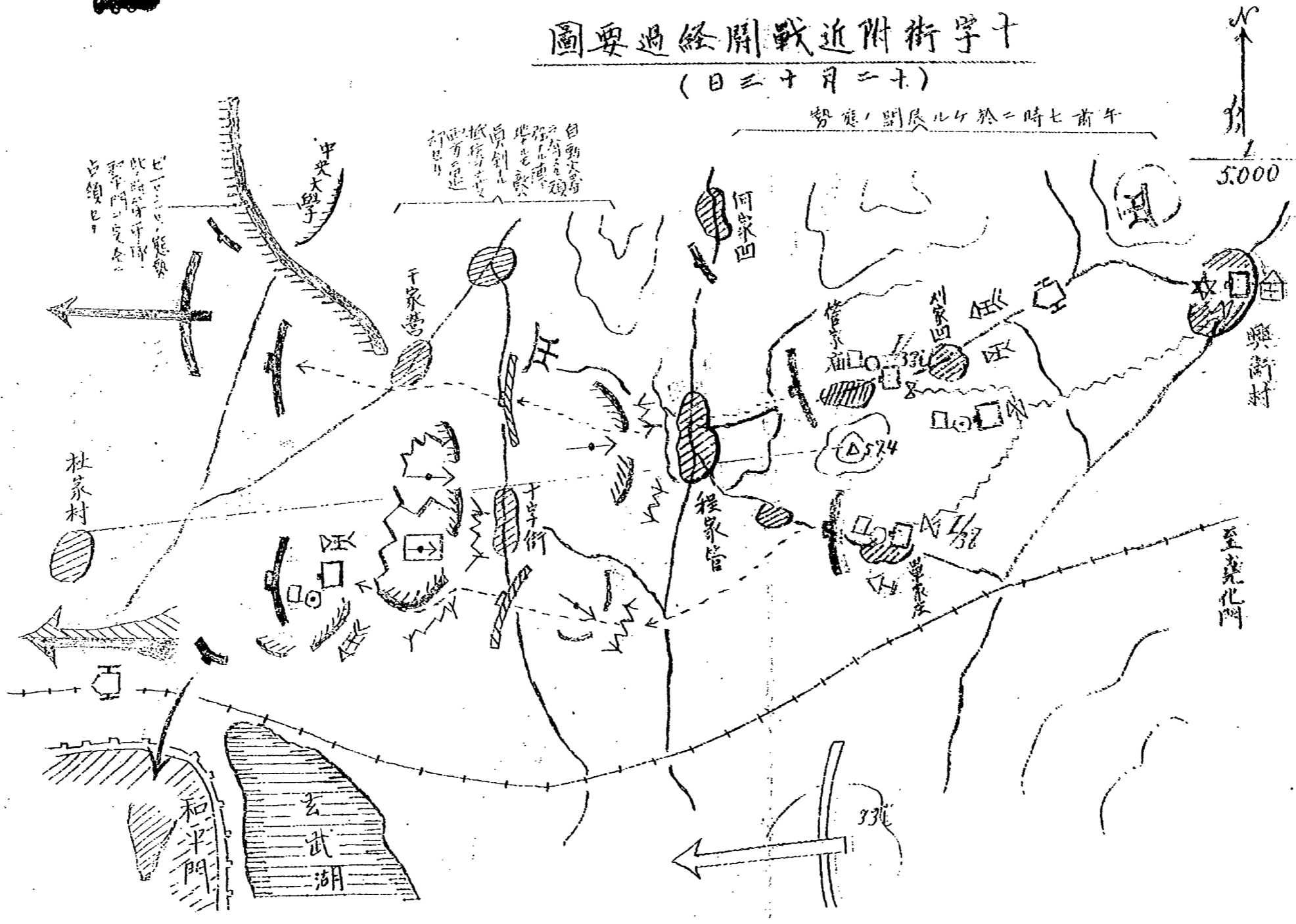
0299

8122

十字街附近戰開經過要圖

(二十日三月)

午前七時二十分於此處及開戰

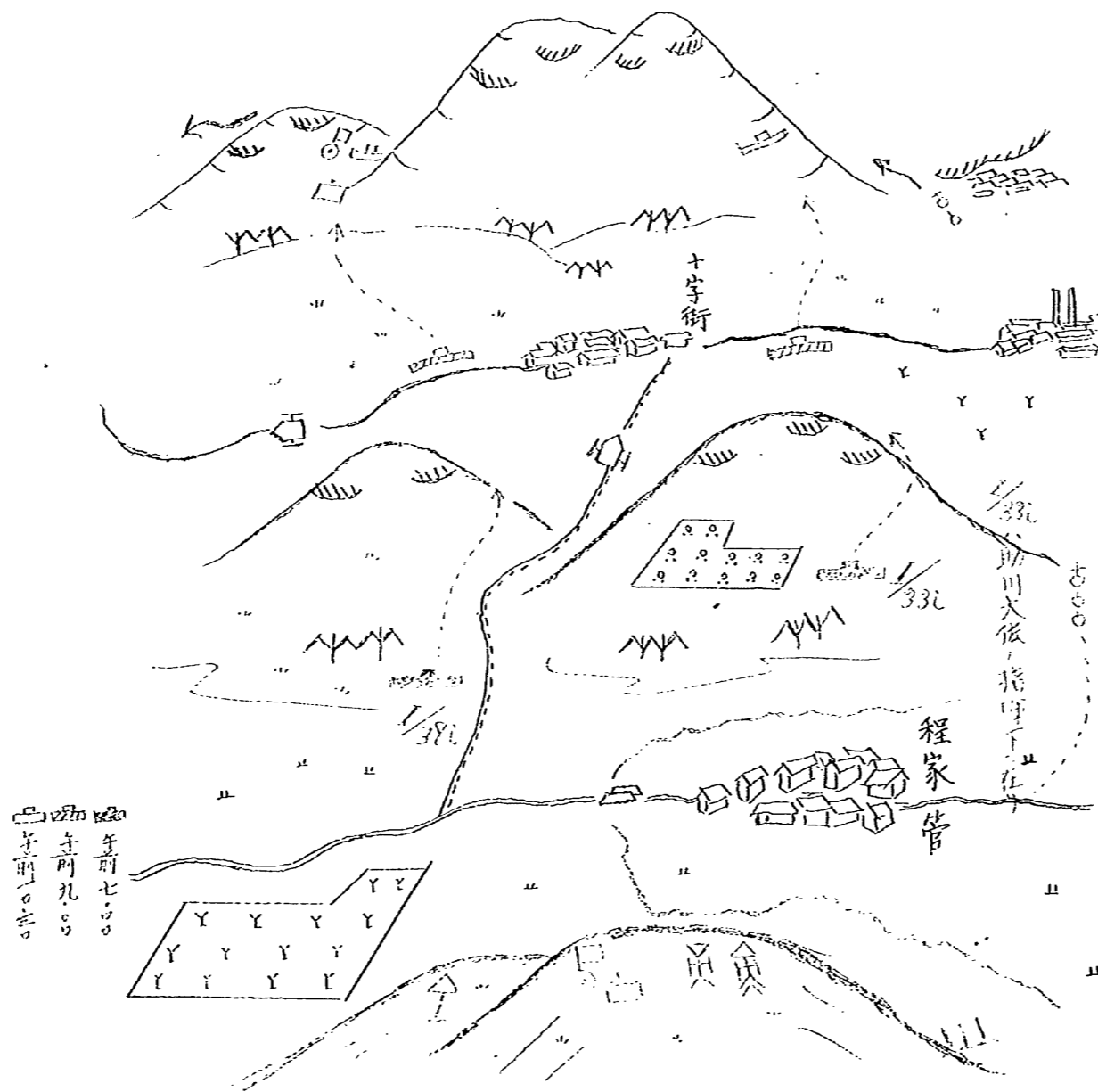


298

0300

十字街附近戰景圖

(二十月三日)

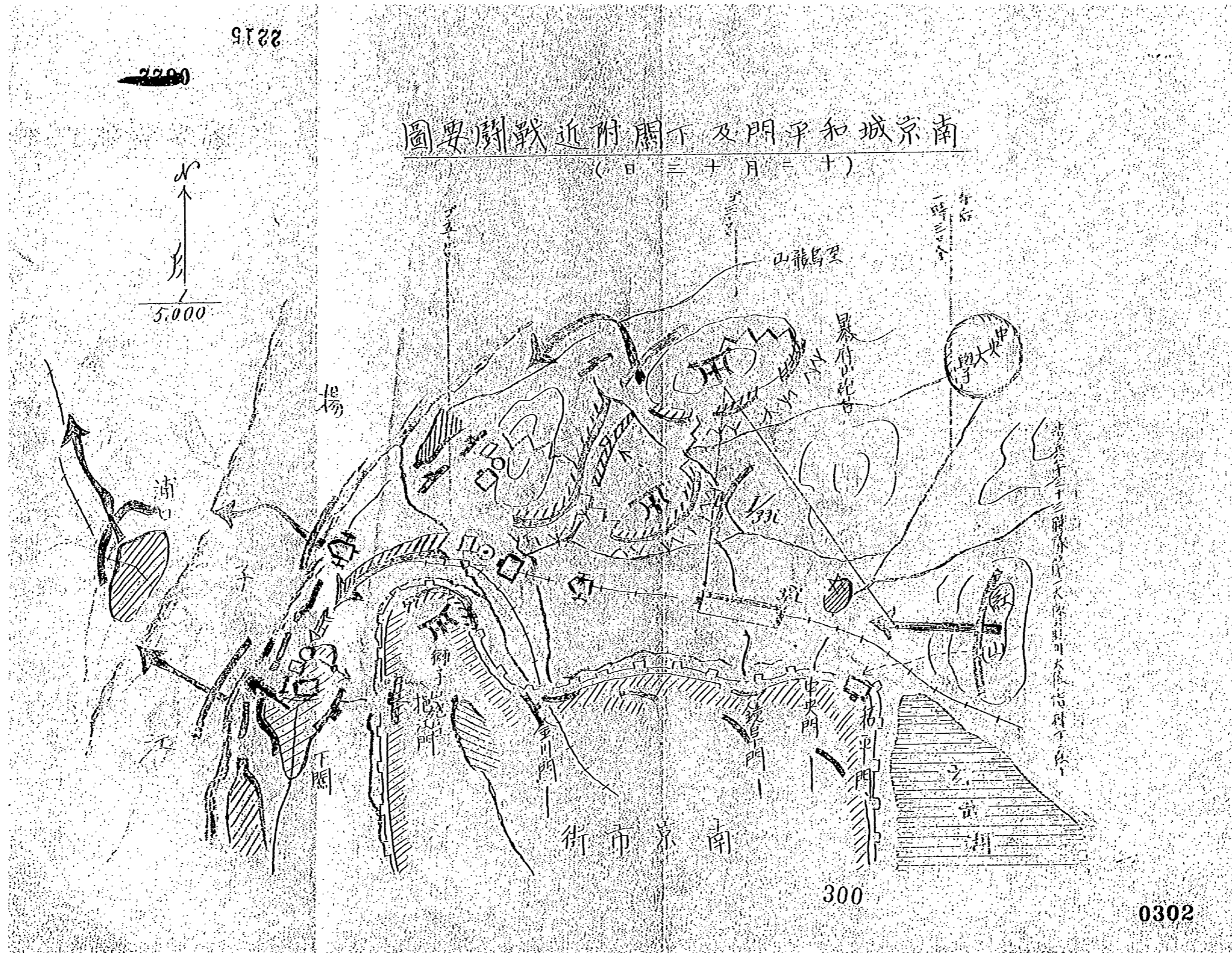


9122

~~2000~~

圖要劇戰近附關下及門平和城京南

(日三十月一十)



300

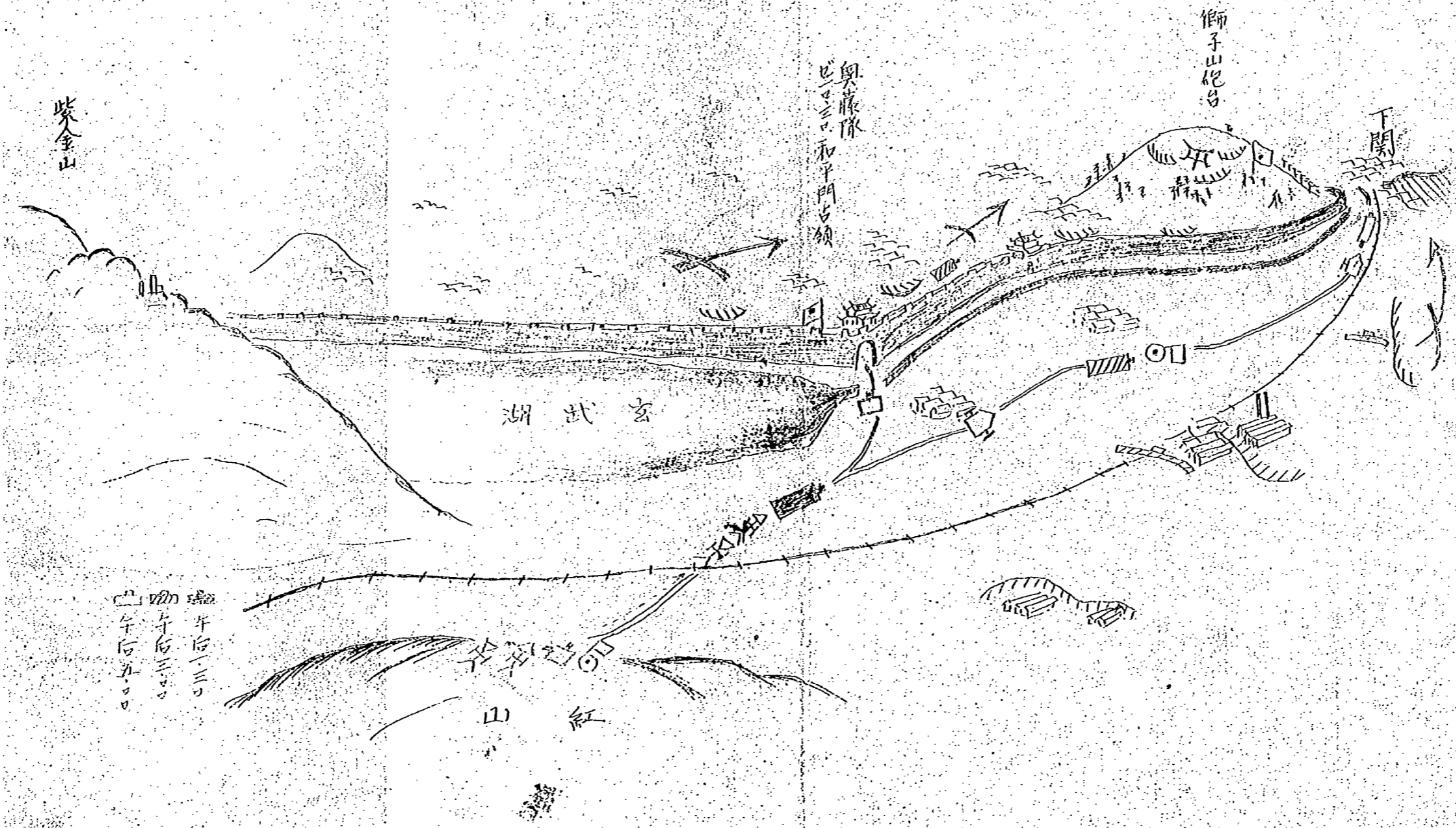
0302

9122

圖景島關戰近附關下及門平和城京南

(日三十月二十)

6680



山
午後九時
山
午後三時
山
午後三時

301

0303

TIA	BIA	III	IMG	12	11	10	9	IIIA	IMG	8	7	6	5	IBIA	IMG	4	3	2	1	区分	大			通信班長 野新 係 予准尉 西峯 義雄 中尉 大西 隆吉 少尉 松本 好一	聯隊長 大佐 助川 靜二 副官 甲少佐 堤 晃 中尉 蛭 澤 憲	十字街和牛門附近戰闘參加將校(准尉)職員表 自昭和二三二一 昭和二三二一 昭和二三二一			
予中尉 窪田重男	大尉 莊司武夫	准尉 平井興三郎	大尉 福山政之		大尉 大尉 土井初太郎	大尉 大尉 柏端久三	少尉 少尉 市川俊一	大尉 大尉 永野進	中尉 中尉 福島忠弘	中尉 中尉 山本順之助	大尉 大尉 神代富士夫	中尉 中尉 吉田兼雄	准尉 准尉 椛本貞義	大尉 大尉 吉川日出夫	中尉 中尉 三木一正		大尉 大尉 山田瀧一	大尉 大尉 奥藤悟一郎	軍 中隊長	大隊長	副官	主計官	区介				第一大隊 中佐 竹内正	第二大隊 少佐 水谷純	第三大隊 少佐 大槻吉武
予准尉 福井 實	予少尉 藤本英雄	予少尉 岡本正博	予少尉 大井浩三郎	予少尉 寺前直三	予少尉 寺前直三	予少尉 森野三兵衛	予少尉 堀田宇佐美	予少尉 西島三郎	予少尉 中島三郎	予少尉 池野三郎	予少尉 水村要太郎	予少尉 池谷勝利	予少尉 吉井重兵衛	予少尉 金田芳太郎	予少尉 光本安吉	予少尉 藤田久一	予少尉 今村嘉次	予少尉 榮山利宏	予少尉 田垣朝吉	予少尉 竹下朝吉	予少尉 石田博	予少尉 森村文治	予少尉 白生起				予少尉 北岡行男	予少尉 福井 實	予少尉 山本光治

考 備	總 計	隊 區 分		連射砲中隊	歩兵砲中隊	第三大隊	第一大隊	聯隊本部	死		傷		生一死不明
		將校	戰子參加人馬						將校	馬匹	將校	馬匹	
	三二二五七		二九〇	二一六〇	二一九三九	二一九〇八	二一九〇	四二六〇	九八	一			
	三九三		二〇	五三	一一二	一一〇	一						
	一七					三	四						
	一七					一〇	七						

附表第一

戰鬪詳報第一一號附表

昭和十二年十二月十三日 十字街及興衛附近戰鬪詳報死傷表

0222

~~500~~

考	備	計	速射砲中隊	歩兵砲中隊	第三大隊	第一大隊	聯隊本部	隊		區	種類	費	損	失	其他
								號	分						
		72	10			62		彈	榴	砲	消				
								霰	榴	彈					
		25,700			6,500	18,700	500	銃	小	銃					
		14,440			5,400	9,040		銃	崗	機					
		67					67	銃	拳	彈					
		34				34		筒	擲	彈					
								彈	擲	手					
								車	藥	彈					
								車	藥	筒					
								銃	崗	機					
								銃	兵	步					
								銃	騎						
								彈	榴	彈					
								霰	榴	彈					
								銃	小						
								銃	崗	機					

昭和十二年十二月廿三日
 十字街及興衛附近戰鬪詳報武器彈藥損耗表

戰鬪詳報第一二號附表

附表第二

304

0306

1722
0300

附表第三

戰聞詳報第一一號附表

昭和十二年
十二月十二日
十字街及興衛附近戰聞詳報鹵獲表

隊	種	類	戰		利	
			俘	奪	獲	得
聯隊本部	旗	分	七	四三		二
第一大隊	旗	分	一〇	二五〇		三
第三大隊	旗	分	八	一七〇		三
步兵砲中隊	砲	分				一
速射砲中隊	砲	分				
計			二五	四六三	二五〇〇	

備考
自動車八下関碼頭ニ敗走セシ敵カ揚子江岸浦口ニ河渡
ノ際捨テタルモノ及運轉逃走中カリレモノヲ示ス